

Harmony

創和会 重井医学研究所附属病院 広報誌

183

2019 秋号



特集
リハビリテーション



リハビリテーション部 副室長
松久保 稔

リハビリテーション部は、理学療法士14名、作業療法士7名、言語聴覚士3名、健康運動指導士2名の合計26名のスタッフ構成で、入院、外来の患者さんにリハビリテーションを提供しています。知識・技術習得に熱心な20代若手から、専門資格を得た30代、40代のベテランセラピストが所属しており、高い水準の治療を提供しています。

当院の特徴としては、急性期病院で骨折の手術や他疾患の治療を終えた患者さんに加えて、がんの術前・術後の患者さんの紹

介も受け入れています。各病棟に1名ずつ病棟担当セラピストを配置しており、病棟での患者さんのADLや入退院情報を看護師などの他スタッフとリアルタイムに共有しています。また県内有数の透析施設として、バスキュラー・アクセス関連入院患者さんや糖尿病教育入院の運動指導を健康運動指導士が中心となって実施しています。

患者さんの情報を担当セラピストと共有することで、退院後も安心して生活できるように患者さんをサポートしています。

運動器リハビリテーション

近隣の急性期病院より、大腿骨頸部骨折術後、腰椎圧迫骨折、肩板断裂術後などのリハビリテーション目的の紹介を受けています。毎週、整形外科医師の回診により、運動内容や荷重開始時期などについて相談しながら進めています。肩板断裂術後については、急性期医師による術式やリハビリテーション内容の講義を受けており、再断裂防止に向けてチームで取り組んでいます。

がんリハビリテーション

術前は身体機能維持、栄養管理を行うことで、術後の合併症発症リスクを軽減させます。術後は、安静臥床に伴う身体機能の低下等、ADLの改善を目的に介入していきます。

また進行がん患者さんにおいては、病気の進展に応じて疼痛、全身倦怠感、姿勢異常などへの対応を通じて苦痛の緩和を図っていきます。現在、13名のがんリハ研修終了者が在籍しており、患者さんの嚥下機能・栄養手技の獲得・身体機能向上に努めています。

呼吸器リハビリテーション

誤嚥性肺炎、COPDなどの呼吸器疾患の入院患者も多いため、QOL向上に向けて排痰、呼吸困難感の改善、運動療法、動作練習などの包括的呼吸リハビリテーションを展開しています。また取り組みとしてベテランセラピストが、後輩や看護師へ呼吸介助などの実技指導を行っています。自発的に呼吸療法認定士の資格取得を目指すなど、呼吸リハビリテーションの研鑽に取り組んでいます。

腎臓リハビリテーション

当院は約360名の血液透析を行っています。透析患者さんは健常者と比較して、不活発な状態となりやすく、筋肉量・筋力の低下に伴うサルコペニア、フレイルに陥らないように注意が必要です。運動機能維持・向上を目的として、朝の透析前に集団体操を実施しています。内容としては、座位での筋力運動、ラジオ体操、岡山市民体操を20分程度行います。また、関節ファシリテーションを実施しており、関節の変改や運動障害の予防に努めています。



口から食べる
幸せを
これからも

食べ物を口腔内に取りこみ、咽頭、食道を経て胃に入るまでの過程のいずれかに異常があり、「むせる」、「飲み込みにくい」、「上手に食べられない」などの摂食・嚥下障害がある方に対し、私たちはスクリーニング検査やVF検査（嚥下造影検査）、VE検査（嚥下内視鏡検査）を行い、飲み込みの状態や飲み込んだ後の残留物の様子を確認していきます。そして、検査結果をもとに今後の治療方針を決定します。

摂食・嚥下障害をきたす原因は、脳血管障害によるもの、神経・筋疾患によるもの、また加齢による筋力低下で生じる場合もあります。また、舌がんや咽頭がんなどの腫瘍による場合や術後の障害など、形態的な異常が原因で生じることもあります。



そういった患者さんへ、食事をゼリー状やペースト状など食べやすい形状に変更したり、食事時の姿勢を調整する等、どうすれば安全に上手く食べられるかを考えています。また、まだ食べることが難しい状態でも口腔ケアや嚥下体操などを行い、肺炎などの合併症や廃用症候群を予防するように努めています。「食べる」ことの喜びをもう一度得られる

よう、当院では医師、言語聴覚士、看護師、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、放射線技師等、それぞれが連携・情報共有し摂食機能障害に対する取り組みを行っています。

「ごはん美味しいなあ、食べられて良かったなあ。」そんな声が聴けるようチーム一丸となってサポートさせていただきます。

●リハビリテーション部スタッフ●

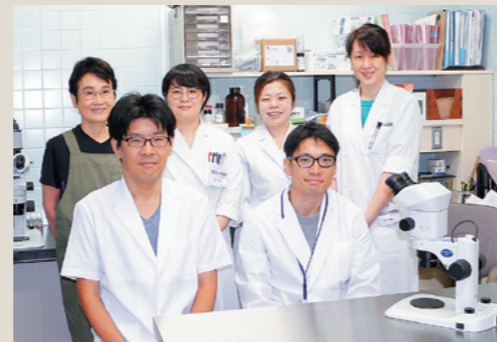
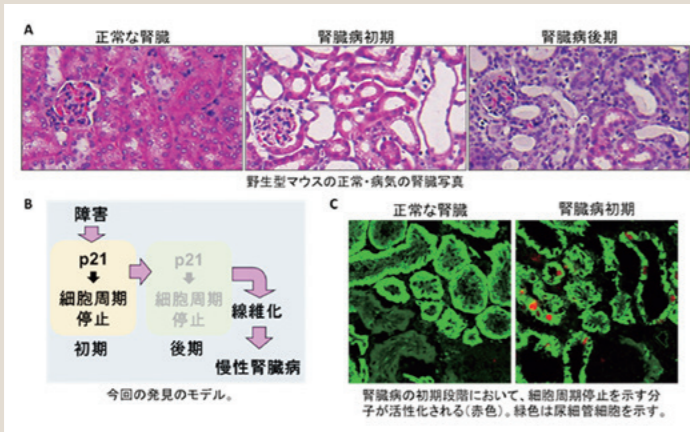


腎臓病の早期発見・早期治療に光明

重井医学研究所分子遺伝部門の古家野孝行研究員・松山誠室長らのグループは、腎臓病の初期段階における防御機構を解明しました。本研究成果は、「Scientific Reports」オンライン版に掲載されました。

モデル動物であるマウスにおいて、人為的に腎臓病を引き起こし、その過程を段階的に調べ、線維化と呼ばれる不可逆的な組織変化が起きる前段階において、細胞周期停止と呼ばれる細胞保護機構が働いていることを突き止めました。

また、p21と呼ばれるタンパク質がこの細胞周期停止の誘導役を担っていることを明らかにしました。本研究成果により、これまで難しかった、腎臓病の早期発見に向けた診断支持薬や治療薬開発への応用が期待されます。この成果は山陽新聞でも大きく取り上げられ、反響を呼びました。



研究所分子遺伝部門のスタッフ

重井医学研究グループ 腎臓保護の機能解明 早期発見、薬開発期待

腎臓病の発症メカニズムの解明に取り組む重井医学研究所(岡山市南区山田)分子遺伝部門の古家野孝行研究員と松山誠室長らの研究グループは、腎不全が発症する前の初期段階ではダメージを受けた細胞の増殖を抑え、組織を守ることで機能が臓器にあることをマウスの実験で突き止めた。

特定のタンパク質が関与していることも分かり、腎臓病の早期発見や治療薬の開発につながる可能性がある。論文を19日、英科学誌サイエンティフィック・リポーツに発表した。

研究グループによると、マウスの腎臓につながる尿管を縛って7〜10日で腎不全を発症させた。その際、初期段階の2〜3日目に尿管細胞内を観察すると、細胞の増殖を抑える「p21」と呼ばれるタンパク質が増えているのを確認した。

一方、「p21」を作れないよう処置したマウスで腎不全を発症させると、組織が変化して腎臓機能を失うのが早まり、病状はより悪化した。この結果、「p21」がダメージを受けた細胞の増殖を抑えて組織の機能不全を防ぎ、臓器を保護する役割を果たしていることが結論づけられた。

「p21」は正常な細胞では見られず、腎不全になった細胞にも少ないという。今後は、なぜ病気の初期段階にだけ増えるのかなどを詳しく調べる。

古家野、松山両氏は「p21」の存在量が病気の初期段階の指標となる可能性がある。その動きを活用した治療薬の開発も期待される」としている。

日本透析医学会によると、2017年末時点で腎不全などによる慢性透析患者は33万4千人おり、岡山県内は約5100人。慢性腎不全になると、体内に老廃物がたまるため、透析治療や腎移植が必要になる。(伊丹友香)

山陽新聞 2019年8月20日

子どもたちの生き生きとした表情が見られました

今年も小児療育センターでは、7月29日(月)に療育の一環として、子どもたちが科学者となって野菜からDNAを取り出す実験を重井医学研究所の協力を

得て行いました。当センターでは、通常の療育に加え様々な体験を通して子どもたちの心の成長を育んでいきます。



夏祭りにたくさんの方がお越しになりました

8月6日、当院の夏祭りを開催しました。入院患者さんや地域の方々がたくさんお越しになり、いつもと変わらない賑わいのお祭りとなりました。

来年もこの時期に開催を予定しています。お楽しみに!



在宅医療が抱える諸問題について意見を述べました

8月18日、岡山県医師会館三木記念ホールで行われた岡山市地域ケア総合推進センター主催の在宅医療普及啓発イベントの中でパネルディスカッション「住み慣れた地域で最後まで安心して暮らすために」～在宅医療提供体制(南区西地域・中区地域)の取り組み～に当院院長の真鍋康二がパネリストの一人として登壇しました。

岡山市は在宅医療提供体制の整備を進めていますが、当院は岡山市の南区西地域においてバックアップ病院としてモデル事業に参画しており、この度院長の真鍋がこれまでの活動の経緯を発表させていただきました。当院は地域の医療機関とともに在宅医療における連携をさらに進めてまいります。

最後まで自分らしく暮らすために
～在宅医療・介護あんしん岡山市モデル～

外来診察 予定表

Outpatient care schedule

受付時間 8:30~12:00 (再診の方は、再来受付機にて午前8時より受け付けています)
13:30~17:00

休診日 木曜・日曜・祝日
(急病の場合は、あらかじめ電話で対応可能かどうかのお問い合わせをお願いいたします)

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖)	休診	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎)
			大森 一慶 (総・糖)		池田 弘 (肝)		高井 舞子 (総・糖)	荒木 俊江 (総・糖)
	腎臓	福島 正樹 (腎) (紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)	福島 正樹 (腎)		福島 正樹 (腎)	
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	岡 優子 (総・消)		岡 優子 (総・消) 山本 直樹 (総・消)	
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	—		—	
★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 ★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています								
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休診	交代医師	交代医師	
	専門外来 (予約)	(肝臓・ 生活習慣病) 池田 弘	(糖尿病・腎臓病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—		—	—	
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休診	—	—	
小児科	午前	瀧 正史	虫明 亨祐	虫明 亨祐	休診	虫明 亨祐	瀧 正史	
		虫明 亨祐	今村 昌司	今村 昌司		今村 昌司	虫明 亨祐	
午後	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種		交代診療 予防接種		
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	川田 珠理	川田 珠理		今村 昌司	今村 昌司	
	午後 完全予約制	今村/河野	川田 珠理	川田/赤池		今村/川田	今村 昌司	
★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中)です。予め電話での予約をお願いします。 他の曜日に来院されてもお帰りいただく場合がございます。ご了承下さいませようお願いします。								
外科	午前	櫻間 教文	平松 聡	平松 聡	休診	平松 聡	平松 聡	
ダイアライ シスアクセス 専門外来	午前	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	櫻間 教文	
★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約をお願いします。 ★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。								
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休診	岡山大学 13:30~16:00	—	
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休診	—	—	
眼科	午後	岡山大学 第4月曜日13:30~16:00	—	—	休診	—	—	

理念 生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

基本方針

1. 生命の尊厳と人権を尊重した良質な医療を通じて、**地域の信頼**に応えます
2. 知識・技術を向上して敬意を持って協力し合い、**チーム医療**を実践します
3. 地域社会への持続的な貢献を目指し、**健全経営**に取り組みます

Information



重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市南区山田2117
TEL 086-282-5311 / FAX 086-282-5345
<http://www.shigei.or.jp/smrh/>



関連施設
 しいげい病院
 重井医学研究所附属病院
 重井医学研究所
 岡山しいげい訪問看護ステーション
 岡山しいげい居宅介護支援事業所
 倉敷しいげい訪問看護ステーション
 倉敷しいげい居宅介護支援事業所
 倉敷しいげい訪問看護ステーション
 倉敷しいげい居宅介護支援事業所
 健康増進施設 はあもにい倉敷